

平成二十八年年度第一回企画展

「古文書に見る人々の暮らし」 遺された記録「関係史料集

●年貢割付状(折原家文書No.5885)

亥御年貢可納割附之事

寅より亥迄拾ヶ年定免

武蔵國埼玉郡

当亥破免

午高入

一高四石三斗三升壹合

百間村新田

此反別壹町貳畝拾八歩

此訳

田高三石壹斗九升貳合

当亥水腐皆無引

此反別七反五畝拾八歩

畑高壹石壹斗三升九合

此反別貳反七畝歩

内訳

高三斗四升四合

四

見付田八畝拾八歩

当亥免上

取米四斗六升八合

当亥水腐皆無引

高三斗八升八合

四

下々畑田成九畝廿壹歩

右同断

右同断

右同断引

高八合

三

蔭畑田成八歩

右同断

右同断

高四斗四升壹合

右同断引

九

屋敷田成四畝廿七歩

右同断

右同断

高三斗九升五合

右同断引

五

下畑田成七畝廿七歩

右同断

右同断

高壹石壹斗五升七合

右同断引

四

下々畑田成貳反八畝廿八歩

右同断

右同断

高三斗五升壹合

右同断引

三

見付畑田成壹反壹畝廿壹歩

右同断

右同断

高壹斗八合

右同断引

三

蔭畑田成三畝拾八歩

右同断

右同断

高五斗九升九合

右同断引

四

下々畑壹反四畝廿六歩

取永百拾文五分

高壹斗四升七合

三

見付畑四畝廿七歩

右同断

高壹斗貳升七合

三

蔭畑四畝七歩

右同断

高貳斗七升

九

屋敷三畝歩

右同断

米なし

内米三升七合 免上増

外米三石五斗三升八合 皆無減

取 差引

米三石五斗壹合 去戌減

永貳百九拾八文四分 去戌同

外

掛高壹石壹斗三升九合

外高三石壹斗九升貳合 田高五歩以上損毛免除

一米壹合 御傳馬宿入用

掛高 右同断

外高

一米貳合 六尺給米

掛高 右同断

外高

一永貳文八分 御蔵前入用

一真菰地八畝拾五歩 拾ヶ所

合 米三合

永三百壹文貳分

右者定免之内当亥破免御取箇書面之通相極条村中大小之百姓入作之もの迄
不殘立會無高下割合之来ル極月十日限急度可 令皆済者也

嘉永四亥年十月 竹垣三右衛門 印

●年貢皆済目録(折原家文書No.594)

亥御年貢皆済目録

右村

名主

組頭

惣百姓

武州埼玉郡

午高入

百間村新田

本途

同断

口米

口永

高四石三斗三升壹合

一米なし

一永貳百九拾八文四分

一米なし

一永九文

掛高壹石壹斗三升九合

外高三石壹斗九升貳合 田高皆損毛高免除

一米壹合 御傳馬宿入用

此斗立壹合

此代永壹文貳分

掛高

右同断

外高

一米貳合

六尺給米

此斗立貳合

掛高

右同断

外高

一永式文八分

御蔵前入用

当子より西迄拾ヶ年定免
一高拾式石八斗五升式合

豎田

百間西原組新田

合 米式合

永三百四拾壹文四分

右拂

権現堂河岸

壹分六厘

米算不当

御廻米運賃米渡

納合 米式合

永三百拾壹文四分

外 永三分

永式拾壹文六分

包分銀とも

川々国役金

包分銀

一永式拾壹文

野錢

此反別四反壹畝廿四步

一米八合

御傳馬宿入用

一米式升六合

六尺給米

一永三拾式文壹分

御屋敷入用

右者去亥御年貢本途其外共書面之通令皆済二付小手形引上一紙目錄相渡もの也

嘉永五子年正月 竹 三石衛

印

右村

名主

組頭

百姓代

納合 米三石式斗六合

永五拾三文壹分

右者当子より西迄拾ヶ年定免御取箇書面之通相極条村中大小之百姓入作之
もの迄不殘立会無高下割合之尤年季中御取箇入狂ひ無之候ハ書面之通相
心得年々極月十日限急度可皆済もの也
文化元子年十月 野口辰之助

●年貢割付状(新井家文書No.5025)

子御年貢可納割附之事

武州埼玉郡

笠原沼

右村

名主

与頭

惣百姓

●年貢皆済目録(新井家文書No.2050)

子御年貢皆済目録

武州埼玉郡

笠原沼

百間西原組新田

高拾貳石八斗五升貳合

一米三石壹斗七升貳合

此斗立三石三斗五升三合

一米九升壹合

此斗立九升六合

此代永九拾六文

一永貳拾壹文

一永六文

一米八合

此斗立八合

此代永八文

一米貳斗六合

此斗立貳升七合

此代永貳拾七文

一永三拾貳文壹分

戊より卯迄三拾ヶ年賦

一永三拾文壹分

当子より辰迄五ヶ年賦

一永百六拾三文八分

種粃代返納

合米三石三斗五升三合

永三百七拾八文六分

右拂

米六升五合七勺

貳分

送賃米渡

納合米三石貳斗八升七合三勺

永三百七拾八文六分

外永三分

包分銀

右者去子御年貢本途小物成其外共書面之通令皆済二付小手形引上一紙目録相渡もの也

文化二丑年三月 野 辰之助印

右村

名主

組頭

惣百姓

●年貢割付状(新井隆夫家文書No.2002)

子御年貢可納割附之事

当子より酉迄拾ヶ年定免

武州埼玉郡

一高四拾六石貳斗三升八合

下ノ谷

此反別拾五町四畝拾貳歩

百間西原組新田

此わけ

下畑貳町六畝六歩

五

下畑八町九反八畝六歩

四

取永五貫七百貳拾八文

外

一永貳拾五文壹分

秣野錢

一米貳升八合 御傳馬宿入用
一米九升貳合 六尺給米
一永百拾五文六分 御屋敷入用

納合 米壹斗貳升

永五貫八百六拾八文七分

右者当子より西迄拾ヶ年定免御取箇書面之通相極条村中大小之百姓入作之
もの迄不殘立會無高下割合之尤年季中御取箇入狂ひ無之候ハ、書面之通相
心得年々極月十日限急度可皆済もの也

文化元子年十月 野口辰之助[㊦]

右村

名主
与頭
惣百姓

●年貢皆済目録(新井家文書No.2048)

子御年貢皆済目録

高四拾六石貳斗二升八合

武州埼玉郡

下ノ谷

百間西原組新田

一永五貫七百貳拾八文

本途

一永貳拾五文壹分

小物成

一永百七拾貳文六分

口永

一米貳升八合

御傳馬宿入用

此斗立三升

但子冬御張紙直段三兩増者

此代永三拾文

米三拾五石二付金三拾五兩替

一米九升貳合

六尺給米

此斗立九升七合 但子冬御張紙直段三兩増者
此代永九拾七文 米三拾五石二付金三拾五兩替
一永百拾五文六分 御蔵前入用

納合永六貫百六拾八文三分

外永五文壹分

包分銀

右者去子御年貢本途小物成其外共書面之通令皆済二付小手形引上一紙目録
相渡もの也

文化二丑年三月 野 辰之助[㊦]

右村

名主
組頭
惣百姓

●帶直し祝儀覚帳(新井家文書No.45)

(表紙)

寛政十年

帶直御祝儀おぼへ

午ノ十一月十七日

八十五郎祝

(本文)

おぼへ

前

一帶三すぢ

重五郎

一次ばん壺ッ

林エ門

一志詠壺たん

市郎左エ門

一同 壱たん	才兵衛
後家	
一百文 常右工門	
一百文 源治郎	
一百文 重治郎	
一百文 与助	
一百文 佐平次	
一百文 源工門	
一百文 吉五郎	
金や	
源六	
一百文 かさを壱束	
幸内	
吉工門	
久三工門	
弥七	
槐戸	
権兵衛	
杉戸	
八郎右工門	
須賀	
三平	
寺	
居隠様	
青林寺	
松永庵	
大ノ	
文右工門	
一带壱すぢ	

一き西壱ッ	粕壁
一同 壱ッ	重蔵
一同	清治郎
一同西	新田
	茂七
一き西壱ッ	寺村
	権兵衛
一式百文二丈	西浦
	七左工門
金や	
弥五郎	
新田	
次左右工門	
宝性院	
宿	
伊左工門	
金や	
伊左工門	
大ノ	
四郎兵衛	
宮内	
清左右工門	
中次	
安左工門	
下谷	
源治郎	
小ふち	
一带壱すぢ	

一貳百文 儀介

申正月廿九日始メ

宿伴七殿山

真木村方手間おぼへ

二月朔

一ばん之木 四拾貳抱

同

一松真木 四拾九抱

二日

一なら 拾三抱

同

一半田木 四拾壹抱

四日

二三拾抱 半之木

同

一松 三十四抱

五日

一五抱 なら

五日

一拾壹抱 半

五日

一三十抱 松

六日

一六拾貳抱 松

八日

二三拾抱 市五郎壺人

九日

一五十九抱 松

十日

一三拾抱 松 初二門壺人

十三日

一廿六抱 松 常五郎壺人

手間

(以下頁中余白)

(頁替以降 下略)

●美祢紐解御祝儀重配覚帳 (新井家文書 No. 40)

(表紙)

天保十一年

美祢紐解御祝儀重配覚帳

霜月十四日

(本文)

覚

重配振舞共

一家内中

清兵衛様

一家内中

喜右衛門様
後家

一家内中

翠頼様

一家内中

治兵衛様

十五

六右衛門

一家内中

佐右衛門

一

一

一

一

一	作兵衛	十老	下ノ
一	おすき殿	一	丈左衛門
一	市左衛門	重配	
一	おたつ殿	本村	
一	嘉ゆ殿	山崎	
一	道藏殿	拓	半右衛門
一	安左工門	同	長三郎
一	御内方殿	同	直次郎
一	伊右衛門	十五	
十五	李左工門	同	斧七
一	御家内中	十五	
十五	七平	同	伊左衛門
一	御家内中	同	清五郎
一	徳右衛門	一四拾八文	浄玄
十五	金藏	同	萬吉
一	喜左工門	同	庄右衛門
一	仁兵衛	一武拾四文	文重郎
一	楽左衛門	一四拾八文	権次郎
一	又兵衛	一武拾四文	太市
一	六左工門	一十五 拓	多郎左工門
一	地蔵院	一武拾四文	勘六
一	弥四郎	一武拾四文	利八
一	武兵衛	一武拾四文	三九郎
一	佐五兵衛	拓	文吉
一	馬之助	拓	熊次郎
一	清藏	拓	清五郎
一	源兵衛		権兵衛
			佐次左衛門

紙式状
 一三百文 源助
 紙式状 山崎
 一金壹分 重右衛門
 芋壹巴
 扇子箱
 紙式状
 一金五拾疋 利左工門
 紙式状
 一太里反物壹反 倉藏
 苧
 紙式状
 一縮緬壹反 八十五郎
 一貳百文 翠頼
 紙式状
 一四百文 仙太郎
 紙式状
 一貳百文 金藏
 紙壹状
 一壹朱 六左衛門
 紙式状
 一三百文 長藏
 紙壹状
 一貳百文 喜右衛門
 紙式状
 一金貳朱 七平

紙式状
 扇子箱
 一貳百文 安兵衛
 紙壹状
 一壹朱 喜左工門
 紙式状
 一百文 竹兵衛
 紙壹状
 一金百疋 前原
 紙二 宝生院
 一貳百文 青林寺
 紙二
 八■付 源助分 道口
 一太里壹反 嘉左衛門
 紙二
 一貳百文 粉屋
 紙二 音吉
 前原
 一金貳十五疋 栄治郎
 紙二扇子
 倉松
 一金貳朱 久藏
 紙 扇子
 紙一
 一百文 宿隠居
 紙一 村

一貳百文 紙一 安左工門

一貳百文 紙二 山中 文吉

沼端

一金貳朱 紙二 神吉

西浦

一金壹朱 紙二 政治郎

一金壹朱 紙二 源太左工門

一金壹朱 紙二 斧七

一三百文 紙二 喜十郎

一貳百文 紙二 長三郎

村

一貳百文 紙一 市左工門

同

一貳百文 紙一 留五郎

一貳百文 紙一 鉄五郎

山

一貳百文 佐次右工門

一百文 藤 おふき

一貳百文 金や 三蔵

一貳百文 紙一 星

一貳百文 紙一 藤吉

一貳百文 紙二 星 庄右工門

一三百文 紙二 山 権治郎

一貳百文 紙二 宿 清二郎

一貳百文 紙一 村 又兵衛

一貳百文 紙一 同 新六

一三百文 紙一 同 浪右工門

一貳百文 紙一 村 万五郎

一三百文 紙一 山

一貳百文 紙一

一三百文 紙一

紙一
山
一金壹朱
紙二
源兵衛
山
一貳百文
八五郎
紙三
村
一貳百文
伊右工門
槐戸
一貳百文
才市
紙二
槐戸
一貳百文
勇二郎
紙二
前原
一三百文
文五郎
紙一
同
一三百文
吉五郎
紙二
金や
栄治郎
一貳百文
紙一
村
一銀一朱
紙一
李左工門
同

一貳百文
馬之助
同
一百文
清蔵
隱居
一貳百文
半右衛門
半紙一
大ノ
もち斗リ
一貳百文
文五郎
紙中折
餅斗リ
西浦
一百文
与左衛門
隱居
一百文
武左衛門
金や
髮結
前原
一百文
喜兵衛
吉蔵
伊勢三宮参詣
錢別覺
一 金壹朱
宝生院
倉松
一 金貳両也
喜太郎
ほしや
一 三百文
仙太郎
宿
一 金百足
久良蔵

紙貳状

分家

一金貳百足

八十五郎

紙貳状

前

一銀壹朱

清兵衛

紙貳状

一青銅貳拾足

六兵衛

紙壹状

一青銅貳拾足

翠頼

紙壹状

一貳百文

青林寺

半紙貳状

村

一百文

鉄五郎

中折壹ッ

山崎

一銀貳朱

勘次郎

一銀壹朱

重石衛門

村

一三百文

安兵衛

一貳百文

治兵衛

粕壁

一貳百文

つる

中折壹ッ

村

一貳百文

六右衛門

半紙貳状

一銀壹朱

村

一百文

七平

中折一ッ

村

一貳百文

市蔵

一貳百文

粉挽屋

一貳百文

佐右衛門

一金百足

向田

一銀壹朱

清次郎

中折壹ッ

西浦

一同壹朱

政治郎

中折一ッ

沼はた

是迄

作右衛門

金三兩壹分貳朱ト

錢貳ノ四百文

外

大

一貳百文

丈左衛門

中折壹状

槐戸

一三百文

勇右衛門

半紙貳状

山崎

一貳百文

清五郎

一貳百文

一貳百文
中折壺ツ

本村

斧七

一そうめん壺俵

村

李左衛門

一貳百文

村

源兵衛

閏正月十二日

道口

一金壺分

嘉左衛門

中折壺ツ

留見舞

閏正月十七日

一米貳升

清兵衛

一米貳升

六兵衛

一素麵壺俵

翠頼

一貳百文

六右衛門

沼端

一糯米貳升

作右工門

一餅米三斗

才兵衛

小豆六升

治兵衛

一酒壺升

安兵衛

一百文

佐左工門

一貳百文

青林寺

一こわ飯壺結

斧七

一酒壺升

倉蔵

一酒壺升

武左工門

一糯米貳斗

道口

嘉左衛門

一素麵壺俵

浄玄

一糯米貳升

槐戸

一米三升

勇右衛門

一米貳升

市郎左工門

一米貳升

重右工門

一米貳升

村

一米貳升

七平

一素麵壺俵

村

一米貳升

喜左工門

一素麵壺俵

金や

一米貳升

政次郎

一貳百文

ほしや

一百文

多郎左工門

中折一ツ

喜右工門

一素麵壺俵

前原

十六日

後家

一酒貳升

文五郎

一酒壺升

本村

一酒壺升

半右衛門

一酒壺升

永助

一酒壺升

藤吉

一酒壺升

文重郎

一酒壺升

長三郎

一酒壺升

直七

一酒壺升

連田

一金百疋 清治郎

倉松

一白糯米三斗 喜太郎

一白糯米五斗

一留守見舞

一貳百文 宝生院

ほしや

一そうめん壹俵 庄右衛門

村

一そうめん小俵 金蔵

倉松

一金壹朱 斧吉

本村

一貳百文 源太左衛門

源太左衛門

美弥紐直

諸縣リ

一小麦四斗五升

引拔

一若白麦六斗七升

一糯米七俵 四斗入

一米貳俵 四斗入

一五百文 鰯

一五百文 蛸五ワ

一五百四拾八文

一十八拾八文 はんいり

岩月

一金壹分 八方買物

一四百文 粕壁買物

一六拾文 三升

一貳朱 白はし

一三百四拾九文 相遣し

一貳百四拾八文 五拾枚

一貳百文 座頭祝儀

紙壹状

三百文 兩人

貳百文 着宿江

米壹升 同人

こわ餅五ワ 共

一四百文 御前

一縮緬袖 江戸買物

代貳朱三百文 黒八丈

一貳百六拾四文 袖口壹リ

一百貳拾八文 半ん襟

一金貳分仁朱 黒八丈

袖口壹リ

袖口壹リ

帯壹筋

粕壁買物

燈貝拾口

かんてら貳つ

一七拾貳文

一七拾貳文

一五拾五文 赤子切れ
一百四分九文 七わん網
一三分八文 掬子式本
一七拾弍文 貝■子式本
竹輪ふ
白はし
一七百三拾弍文 黒砂糖上
一弍百文 味淋五合
一弍拾五文 汁■
一五百五拾文 上半紙
十状
一中半紙拾状
代四百弍拾四文
一醬油壹樽 粕壁買物拂
代九百文
一酒壹駄
拾弍兩弍分四文
代金壹兩壹分也
一古酒壹斗五升
代金壹分仁朱也
一酢 壹升
代弍百文
一醬油 六百六拾四文
一豆腐 村
安兵衛方
一卜船
一油揚 五拾枚

二口△六百文 小作金ニて差引
一三百四拾八文 八十五郎方
分家方
ろうそく
一弍百弍拾八文 八十五郎方
くつ
六口 分家八十五郎方
△金壹兩弍分弍朱ト 壹貫四百四拾四文
十一月十九日相渡ス
吉藏參宮節買物
一金壹兩壹分弍朱 講金相渡ス
外二金八兩弍分弍朱 道中遣
正月廿一日 諸色八百屋納
一壹貫文 同
同 同
一百文 す
一五百文 村方廻り節
一弍百五拾文 豆腐あふらけ
同正月廿一日 九分
一酒半樽 八十五郎方
拾弍兩也
代金壹分ト 三兩
丑閏正月三日 幸右エ門へ
拂
外二 金壹分ト三兩九分

同閏正月三日

同人方へ

拂

都金貳分卜

六両相渡ス

御祝儀

一銀壺朱

一扇子箱

一紙貳状

清兵衛

買物

留守居行

一七百五拾八文

油藤買物

一百貳拾四文

むきミ

一百八文

豆腐

一四拾八文

酢三合

一貳百文

鯉ふし

一百貳拾四文

葉昆布

一銀貳朱

宿

一紙貳状

倉蔵

一銀貳朱

一苧

八十五郎

一紙貳状

助人足覚

丑二月五日

一老人

前原

作右工門

同

一同老人

同

喜兵衛

同

一同老人

同

徳兵衛

一青銅貳拾疋

本村

一紙貳状

喜重郎

一酒貳升

山崎

市郎左工門
重右工門

覚

むま聳取

一紙貳状

七平

一紅壺ソ

一御白粉壺卜包

一樽壺荷

一かつを壺卜掛

一扇子箱壺ツ

一金壺両也

右之通り

一紙壺状

一青銅拾疋

一扇子箱壺ツ

一紙式状

一壺朱也

一式百文

半紙式状

一式百文

半紙式状

一式百文

中折壺ツ

一金壺朱

中折麻壺ツ

三月十二日

一金壺分也

紙式状

三月廿一日 杉戸おみと内

一壺朱 清蔵

中折せん子壺すい

説渡

手拭壺筋 笠屋

吉蔵

丑六月十日 柚木

一金式朱祝儀 弥惣治

半紙式状麻

全月十八日

一金百疋 倉松

紙式状 喜太郎

苧

買物

一壺貫三百式拾三文

八百屋

藤兵衛

一三百文

玉古

紙式状

供壺人

一八百文

外 六兵衛

一米壺升

てつ

番人也

一百文

髪結江

道口

嘉左工門

二月十八日

一金貳分三朱卜

六百八拾文

八十五郎方

酒老本

諸縣リ

相拂

一金老朱

紙貳状

扇子箱

利左工門貳女

嫁入祝儀

遣ス

天保十二丑年二月廿四日

一金貳百疋

倉藏娘ひさ

婚札祝儀

相遣ス

同年同月

一もんは足袋老足

一御志路へ

一紅老ツ

一紙

一苧

右利左工門

貳女逢付

婦のおたけ

祝儀遣ス

天保十二丑年十一月十五日

一青銅三拾疋

紙貳状

後宿

喜重郎殿江相遣ス

孫清助紐解

丑十一月十一日

一金老朱

一扇子箱

一紙貳状

清兵衛殿

娘二聳取

御祝儀

天保十二丑年十一月

一金老分老朱

紙貳状

苧

倉松村又兵衛

貳番倅紐直し

御祝儀相遣ス

天保十二丑年十二月廿四日

一金百疋

一扇子箱

一紙貳状

連田

清次郎

孫江嫁取

御祝儀遣ス

同年十一月

一金老朱

紙貳状

篠津村留藏

孫紐直し

御祝儀相遣ス

惣領子

天保十貳丑年十二月廿六日

一金貳朱

沼端

作右工門

死去二付香奠

相遣ス

天保十二丑年十一月廿五日

六兵衛聳

同廿七日

一糯白米貳升

悔遣ス

天保十一十二ノ

子丑両出ス

一金貳兩貳分

寅春

外ニ金壹兩

寄進

同同

外ニ三百文

寅六月十七日

一金壹分

外ニ廣半紙

寅六月廿七日

一金壹分貳朱

半紙貳丈扇

寅七月朔日

一貳百文

一そふめん壹俵

喜重郎

同同

同留見舞

一同 本壹俵

斧七

寄進

姫宮

御身古志へ

一同 七わ

同見舞

せんべい屋

清五郎

神酒代

一同 八わ

同見舞

前

清兵衛殿

政次郎孫

七月五日

湯治見舞

祝儀

一于うんとん四わ

市左エ門

本田

倉藏孫

湯治見舞

はら島

一小麦粉貳升

政治郎

勘左エ門へ

一百文

李左衛門

大山参リニ付

そうめん

七平殿より

餞別

寅七月

一小麦わら拾三抱

姫宮妻社

錢百文

寄進

同六月拾八日

湯治留見舞

半

宿

寅八月廿八日七や悦

一摸西綿入一ツ

半紙式状麻

倉松

喜太郎より悦

寿中悦

同

一さめ方小紋単物

半紙式状

麻一ツ

分家

幸右衛門

同

同

一式百文

半紙式状

本村

倉藏

同

同

一紙百文

中折一ツ

前

清兵衛

同

同

一紙百文

中折一ツ

前

六兵衛

同

同

一紙百文

半紙式状

入

七平

同

同

一紙百文

市左衛門

隠居

●美祢婚礼諸入用覚帳 (新井家文書No.54)

(表紙)

嘉永四年

美祢婚礼諸入用覚帳

亥二月二十七日

(本文)

目出度

一紙百文

廣紙式条

常次郎殿

外二

百文 白粉老箱

一紙百文

廣紙式条

藤右衛門殿

一金老分也

廣紙式条

勘左工門

■妻

一金老分也

廣紙式条

源次郎殿

半切老条

白粉老箱

阿ふら老箱

一金老分也

廣紙式条

倉次郎殿

一金老分也

扇子式本

才兵衛

一 貳百文 仁兵衛

貳状あさ

一 貳百文 門之介

貳状

一 金貳朱 七平

貳状あさ

一 貳百文 六兵衛

貳状扇子

一 三百文 清兵衛

二 状あさ

一 金壹分也 向田 清次郎様

廣紙貳条

扇子

一 金貳百疋 倉松 喜太郎

同貳状

扇子

一 金壹分也 道口 嘉左工門

同貳状

扇子

一 三百文 市左工門

同貳状

扇子壹本

一 貳百文 村 喜重郎

同貳状

一 貳百文 喜重郎

同貳状

一 金貳朱 扇子 良敬

貳状

一 金貳朱 治右衛門

二 状

一 同貳朱 山 勘十郎

二 状扇子

一 三百文 山 重右衛門

貳状

一 三百文 留太郎

貳状あさ

一 貳百文 政治郎

貳状

一 貳百文 要工門

壹状

一 三百文 安兵衛

貳状

一 貳百文 治兵衛

二 状

一 貳百文 六右衛門

貳状

一 貳百文 佐治右工門

壹状

一 紙貳状 市蔵

あふら卅尺

一 紙貳状 市蔵

あふら卅尺

一 式百文 丈左エ門

二 状

一 式百文 喜十郎

二 状

一 ■ たらい 壺ツ 才兵衛よりみ祢へ

わたしかね わかしつね

一 白粉 壺箱

一 紅 壺ツ

一 びん附 壺ツ

柳原

一 廣紙 式状 又右衛門

一 末廣 壺篋

一 寿る女 壺わ

一 家内喜多留 壺荷

一 吠 壺ツ

一 金式朱也 宝生院

廣紙式条

扇子箱

多少庵

一 わんこ志り 壺掛

一 扇子 二

一 半切 壺条

一 半紙 式条

一 小袋 壺ツ

一 ふしの粉 壺袋

鬼吉

新井氏の息女 三千と世の誉

いく千代の誓■をなしけり桃桜

誓ひをしらる馬をかえして

一 式百文 仙太郎

廣紙式条

一 式百文 青林寺

廣紙二 扇子箱

沼端

一 三百文 作右衛門

半紙壺状

江戸

一 金壺分也 森川仁兵衛

三ツ井店

一 小どんす女帯 幸右衛門

壺筋

買物覚

正月廿八日より

江戸買控

一 金三分卜

式貫三百八拾四文

江戸二而

祝儀入用相斗り

二月廿一日

一金拾五両三分式朱也

岩附

津国や弥兵衛

訳ケ

一百貳両五分

相皮絵馬模様

ふり袖 壹反

一三拾四両五分

本江

式丈三尺

一拾三両

袖裏

壹丈四寸

一五両五分

真綿代

一壹両五分

黒朱子袖口

壹掛

一五両

紋代

一四両

仕立代

代金貳両三分下

壹両壹分

御■紋縮緬

一八拾八両五分

振袖 壹反

本江式丈三尺

一三拾四両五分

同 壹丈四寸

一拾三両

紋代

一五両

仕立代

一四両

真綿代

一五両五分

黒朱子

一壹両五分

袖口

此金貳両壹分下

百五拾貳両壹分

式両壹分

一五拾八両

白上物

壹疋

一八両

袖裏

壹丈四寸

一五両五分

真綿代

一三両五分

仕立代

七拾五両

此金壹両壹分也

一七拾両

小紋縮緬

留引返し壹反下

裾返し壹枚分

一拾九両五分

花色絹

壹丈貳尺

一三両五分

紋代

一壹両六分

袖口

一五両五分

真綿代

一三両

仕立代

百三両壹分

此金壹両貳分式朱下

五両六分

一百八拾両

黒天鷲織紋天

廣仕立 壹筋

一九拾五両

茶二重銀子

廣帯 壹筋

一拾八両五分

茶天鷲織腰帯

一貳拾九両

かば色朱子

一六両貳分

浴舟紋付

鉢紋縮緬

一九兩 老尺六寸
桃山舞縮緬

老尺六寸

一六兩五分 桃無地縮緬

老尺六寸

一拾九兩五分 花色絹老丈式尺

一拾三兩 藤鼠縮緬老丈式寸

一八兩五分 綾半襟三掛

一三兩五分 黒朱子袖口三掛

一拾老兩 真綿式枚分

金拾四兩三分下

拾兩老分

一七兩五分 木地差入

はり箱老ツ

一五兩 紋代

一三兩五分 紋代

一老兩 真綿代

一老兩六分 羽織ひも

老ツ

一八兩 紫縮緬

半切四尺五寸

一三拾兩 緋縮緬老丈

五拾六兩六分

此金三分式朱下

四百三拾文

三月廿一日

一金老兩式分下 岩附

老貫式百廿四文 作次郎

十九日

一三百六拾四文

山辰

そうり

七足

二月廿一日

一老貫九百五拾文

岩附八百や

長帯はず

一金式朱下

右同断

三百十六文

なし代

一金老兩式分式朱

上高野

上野や買物

御召縮緬約半疋

花色絹老疋

一金老兩三分下

粕壁

老兩

油平

黒繻子帯

老筋

一金老分下

腰卷切六尺

三百文

金三兩三分下

三百拾三文

一式百文

内牧

一三百文

出小屋

一三百文

鹿室

小屋

一五百文

尼沼

老升心かけ

一四百文

尼沼若物

式人

一五百文

粕壁

一江戸買物	座頭	一四拾八文	すき助壱ツ
一金貳分ト	いな	廿五日夜	
四百文	七拾六	一貳百文	瓦曾根近上
一六百文	志ら魚		辰五郎
一三百文	あかがい	一貳百文	近上
	五十		中喰其外
一金壱分ト	大板三枚	ズ金貳分式朱ト	さかしり代
四拾八文	花板五枚	四貫三百五拾五文	
	はんへん三十	二月廿六日	
一百三拾九文	竹輪 貳本	一六六拾四文	勘左エ門殿相頼候
	はまくり		岩附買物
	三〇	一三百文	道藏全頼
一金貳分ト	黒鯛二		鯛三わ
貳百文	外貳品	一六六七拾文	うと
一七百文	まくろ		三わ
	壱本	一貳百八拾文	いわし
一百八拾四文	魚籠三ツ		五籠
一三百文	なし四ツ	ズ壱貫九百三拾貳文	
	ミかん二十		清十郎遣■
	くねん四ツ	一貳百廿四文	うと壱わ
一三百八拾八文	千住	一貳百文	上鯛十枚
	めうか竹山正	一四三拾貳文	ふし貳ツ
一貳百廿四文	柴志よか竹	一六百文	まくろ
一四百分	引かこ十		半身
	かるこうと	ズ壱貫四百三拾六文	
	貳わ	廿八日	
一四拾八文	かわべ縄壱	一金壱両也	村表賄代

二月晦日拂

勘左エ門渡ス

一金壺兩ト

魚正兵衛拂

七百廿四文

鯉四本

一金壺兩三分ト

七百廿八文

九八

上酒壺本

ミりん酒壺升

かた炭三俵

山辰

廿九文

一壺貫式百文

金子

一式百文

南京邊

一八百八拾六文

家持拂

諸色代

老人前三百文ツ

一五貫七百文

祝儀

供拾九人

一五貫七百文

引物代

同供

一式百文

竹蔵

一式百文

弥三郎

一式百文

かね

一三百文

なか

一百文

いよ

一百文

権六

一百文

重松

一百文

ふし

一式百文

清十郎

一式百文

松五郎

一五百文

沼端

一式百文

いよ

一式百文

仲人子

一式百文

とく

一金式兩也

喜代倉

一金壺分也

八郎兵衛

一金三分也

鴨二わ

外二金式朱也足袋代

村中人

外二金式朱也足袋代

仁兵衛二礼

廣紙扇子

樽壺荷

酒式升

牛嶋村中人

一金三分也

藤蔵

外二金式朱也足袋代

廣紙扇子

樽壺荷

梅原

一壺貫四百文

上醬油壺樽

傘原

一九百文

彼醬油壺本

式貫三百文

勘左エ門拂

浅黄詠

壺反

越後絹

壺反

青梅絹

壺反

津の国や拂

●産着納受並諸入用覚帳 (新井家文書No.33)

(表紙)

嘉永五子六月廿五日

産着納受并諸入用覚帳

みね子

とよ

(本文)

覚

柳原

又右衛門

一浅黄縮緬

もやう付

一五郎染縮緬

引返し

一小紋縮緬

単物

志ら紙

かつをふし

たる

柳原

分家

一くんない縞

綿入

才羽村

一かさ折縮緬

綿入

芦橋村

一かさ折縮緬

綿入

牛嶋村

一金式朱也

紙式条

藤蔵

一御召縮緬綿入

廣紙

才兵衛

扇子

道口

一きぬ小紋

綿入

嘉左工門

廣紙

金原

一大織切八尺

袖口付

國松

一金壹万式朱

廣紙

勘左工門

本村

一金壹万式朱

廣紙

倉蔵

くら松

一金式万也

廣紙

又兵衛

江戸

一金壹万也

村 八十七

一白縮木綿切

萬五郎

八尺

廣

村

買物覺

一金貳万

かつぶし

一金貳朱也

良敬

壹貫目

廣紙

七平

大椎茸 貳十

一三百文

久松

其外共ニ油藤拂

廣紙

一貳百文

安兵衛

一貳貫貳百七拾文

岩付買物代

一百文

次兵衛

一五百廿四文

引籠代

一紙貳条

市左エ門

小着よき共

扇子

六兵衛

一金壹万也

多右エ門拂

一貳百文

清兵衛

さしみ皿

紙壹条

多兵衛

かたくち貳ツ

一貳百文

西浦

みそこし

紙壹条

勘兵衛

ふしひやく

一貳百文

山崎

其外共ニ

紙壹条

重右衛門

一金壹万也

まんちうや江拂

一四百文

勘次郎

紙十状

紙壹条

せんべいや

水引十五

一金貳朱也

清五郎

砂糖類貳品

紙壹条

壹貫九百文

くわし

一貳百文

壹貫九百文

はし

紙壹条

勘次郎

一五百七拾貳文

かすかべ買物ニ拂

一金貳朱也

せんべいや

茶半片

紙壹条

清五郎

ゆば

一貳百文

壹貫九百文

うす板

紙壹条

壹貫九百文

江戸買物拂

紙壹条

壹貫九百文

油藤買物

三百五拾文 品々代拂
一四百六拾四文 ミりん酒五合

一貳百文 上醬油三升代
尼沼 番人

一金貳朱也 酒醬油

五百八拾貳文 すし

七百六拾六文 家持拂

一七百元 供壺人

子供貳人
祝儀

一金貳朱卜 清五郎拂

百五拾文 酒小半樽

一六百元 酒貳升

醬油五合

す貳合

其外共二

繰帰り入用

鯉三本

かは焼三十貳くシ

庄兵衛拂

品々見込

入用

一四百年 繰送り之節

供もち貳人

儀錢

玉子代

一金貳朱也
一四百年 繰行候節

くわし

さとう

進物代

繰参り候節

茶くわし

金貳兩ト
八貫三百貳文

●結納目録(新井家文書No.4938)

目録

一、御帯代 金貳拾五円

一、熨斗 壺

一、廣紙 五状

一、末廣 壺箱

一、家内喜多留 壺荷

一、家満寿 壺荷

一、寿留女 壺臺

右之通幾久敷御祝納有之度候也

南埼玉郡百間東村

壺番地

明治十六年一月廿三日

島村栄蔵(印)

同郡百間西原組

新井四郎左衛門殿

●結納(返)目録(新井家文書No.3145)

(包紙)
寿

(表紙裏)
年五十六才二而

はてる

長蔵母

(本文)

目錄

一、御袴代 金拾円

一五百文

無縁講

一、熨斗 壺

但シ割合ニ而五文不足

一、廣紙 五状

村

一、末廣 壺箱

一百文

重五良

一、家内喜多留 壺荷

西浦

一、家満寿 壺荷

一百文

甚兵衛

一、寿留女 壺臺

和戸村

右之通幾久敷目出度祝納仕候也

南埼玉郡百間東村

壺番地

一金壺分

藤工門

明治十六年一月廿三日

島村栄蔵 (印)

一式百文

長次郎

全郡百間西原組

新井四郎左衛門殿

一式百文

才兵衛

一金式朱

市郎左工門

一式百文

山ノ下

一式百文

喜八

一百文

三ツ又

一百文

喜工門

一米式俵

下谷

一米式俵

源次郎

●香典覚帳 (新井家文書 No. 69)

(表紙)

安永六年

香尊覚帳

酉十月七日

施主 長蔵

金壹分

三ツ又

一貳百文 茂工門

清地

一貳百文 乙五郎

前原

一百文 庄兵衛

戸崎

一貳百文 源左工門

米貳俵下

金貳分貳朱

貳貫六百文

フセ

内貳朱ト貳貫五百十二文

右惣括行而壹分壹貫五百四十貳文 渡ス

外

金や

一貳百文 弥五兵衛

杉戸

一貳百文 又右工門

一貳百文 庄内 吉郎右工門

外

一貳百文 青林寺

小遣覚

逆井

一三拾貳文 御道心

一貳朱銀壹枚 導土

一七百文 右布施

外二

三十二文 共のもの

一百文 専

遣米貳朱ト八百六十四文

外二

壹貫五百四十六文

小買物藤工門方

百貳文 とう代七丁

太次工門方

右小遣惣米貳朱ト貳貫五百十二文

覚

杉戸 傳右工門

一もち米 貳升

一貳升 村

一貳升 源左右工門

もち やふ

一三升 勘次郎

山下

一貳升 喜八

一あふらけ三十 忠左右工門

●香典並小遣覚帳(新井家文書No.68)

(表紙)

天明六年

香尊并小遣覚帳

午ノ七月六日

施主長藏

父

(表紙裏)

年六十八才二而

はてる

市郎工門

前原

一あふらけ式十五

庄兵衛

もち

村

一式升

重五郎

もち

村

一式升

林右工門

もち

和戸

一五升

太兵衛

もち

清

一式升

乙五郎

下谷

一三升

源次郎

三ツ又

一式升

茂右工門

三ツ又

一式升

喜右工門

一三升

庄内

吉良右工門

一五升

新田

茂右工門

一式升

槐戸

長次良

一式升

金谷

弥五兵衛

一式升

村

才兵衛

一式升

戸崎

彦七

一ノもち米四斗六升より米

西浦

一そうめん

甚兵衛

(本文)

一五百分

覚

村

無縁講

一式百文

村

才兵衛

西うら

甚兵衛

京塚

長次郎

やふ

喜八

同村

一銀貳朱

勘次郎

新田

一金壹分

茂七

三ツ又

一式百文

茂右工門

下谷

一金壹分

源次郎

和戸

一銀貳朱

太兵衛

一貳百文

青林寺

金や

一貳百文

弥五兵衛

清地

一貳百文

乙五郎

向田

一金壹分

清次郎

ねこ

一百文

八左エ門

〆金壹兩錢貳貫文

差引殘金貳分貳朱

錢七百廿三文

外二

戸崎

一貳百文

源左衛門

小遣覺

一六文

六道銭

一壹貫七百三十式文

布施清〆迄

買物

一壹貫八百九十式文

林工門方

外二廿四日

ひさし

京塚

一三十式文

道心方

〆三貫六百九十文

覺

一三升 もち

市郎左エ門

一貳升 同

才兵衛

一五升 同

茂七

西原

一貳升 うるち

源エ門

一貳升 うんとんご

長次郎

前原

一壹升

庄兵衛

山崎

一きうり五ツ

忠左エ門

大ノ

一貳升 うとんご

四郎兵衛

一貳升 もち

林右エ門

一貳升 もち

清五郎

清地

一貳升 うるち

乙五郎

三ツ又

一貳升 うるち

茂エ門

宮内

一貳升 同

老助

下や

一三升 もち

源八郎

向田

一五升 同

清次郎

一 壹升 うるち 勘兵衛

和戸

一 五升 多兵衛

一 貳升 うるち 青林寺

戸崎

一 貳升 同 源左衛門

金や

一 一そうめん四把 弥五兵衛

●御達書 (甲州巨摩郡八田村久蔵人相書) (岩崎家文書 No. 1310)

(包紙)

御達書

(本文)

元治元子年

十一月十九日

豊後守殿御渡し

当三月十六日夜申刻巨摩郡八田村藤兵衛江為疵負逃去候同人養子久蔵人相書

一年齡 五拾五才

一中丈二而色白き方

一顔長き方

一髪并月代薄き方

一眉毛薄き方

一鼻高き方

一眼納長き方

一口小く齒並揃候方

一 耳常躰

一言舌静成方

一 其節之衣類木綿紺条横堅縞綿入を着し小倉帯を罷在候

右之通之もの於有之ハ其所ニ留置御料ハ御代官夫より於江戸月番之公事方御勘定奉行江可申出候若及見聞候ハ其段も可申出候尤家来又者等をも入念可遂吟味候隠置脇より出相知者可為曲事候

子十一月

御達覚

此度酒井新三郎様

御縁女様御縁組御整被遊候二付為出役相達申候以上

子十二月

右之通り御達申候

子十二月 鳴村新右衛門

中嶋村

須賀村

御名主中

●覚 (上州甘楽郡皆沢村八太郎人相書) (岩崎家文書 No. 2608)

覚

去西四月十九日母さんを打擲之上為疵負同六月六日父啓助をも及打擲逃去候上効甘楽郡皆沢村八太郎人相書

一年齡三十一歳

一丈低き方

一色浅黒く太り候方

一 顔丸き方

一 眼大きく丸き方

一 齒並揃

一 耳鼻口常躰

一 眉毛濃く太き方

一 月代髻濃き方

一 額中痣髮際ニ施毛有之

一 額真中より左江寄くほみ候疵諸有之

一言舌荒く早き方

一 其節之衣類木綿紺浅黄堅縞単物を着し同紺白堅縞小倉帯を罷在候

右之通之者有之ニおひてハ其所ニ留置御料者御代官私領者領主地頭江申出

夫より於江戸根岸肥前守かた江可申出候若見聞およひ候得ハ其段も可申出

候尤家来又者等を入念可被遂吟味若隠し置脇より相知候ハ、可為曲事候

戌

五月

● 覚 (七卿落ち取締につき触書) (折原家文書 No. 611)

(包紙)

廻状 依田七郎 ㊦

佐倉領武州埼玉郡百間村始

村継早々

(本文)

覚

三条西中納言

三条中納言

東久世少将

壬生修理大夫

四条侍従

錦小路右馬頭

沢 主水正

右七人去月十八日以後同伴及他國候段不憚朝威甚如何被 思召被止官位候
和州五條一揆之中山之如く何方へ手寄偽名を唱諸人を恐惑いたし候も難斗
候何方江罷越偽名を唱候共聊無斟酌取押可有之御沙汰候事但若乱暴ケ間鋪
有之候ハ、臨機之所置召捕可有之候事

覚

元中山侍従去五月出奔官位共返上祖父以下義絶当時庶人之身分候處和州五
條之一揆中山中将或者中山侍従与名乗無謀之所業有之候由候得共 勅諭之
旨相唱候故斟酌致し候者も有之或相聞候当時称官名者全偽名且不憚 朝権
唱勅諭候段國家之乱賊ニ而 朝廷より被 仰付候者二者一切無之候間早々
打取鎮静可有之候討手之面々江不洩様可被達候事

右之通於京都被仰出候旨従公儀被仰出候間為心得村中并寺社門前迄不洩様
可觸置候此廻状早々順達留村より役所江可相返候已上

九月十六日 依田七郎 ㊦

百間村

蓮谷村 ㊦

久米原村 ㊦

青柳村 ㊦

北篠崎村 ㊦

小濱村 ㊦

下藤井村 ㊦

上藤井村 ㊦

蓑津村 ㊦

右村々

名主方

●河内守殿御渡（長州浪士取締につき触書）（岩崎家文書No.2257）

河内守殿仰渡

去亥年以來長劬二付属之浪士共此節夫々手放ニ相成候ニ付長劬表者不殘引拂下野國日光山之方へ可立越由之趣ニも相聞候ニ付而者何時何方へ可相越も難斗且先々おひて何様之拳動可致も難斗聞所番所等ニ而者兼而相觸置候通相心得猶又増人数等差出し厳重ニ取締方いたし往来人精々相改メ怪敷体之者一切通行為致間敷若押而可罷通与仕成候者有之尽差押可被申立候万一手向等致候者有之候ハ、無用捨討取可申候

右之通関所番所等有之面々早々可被達候此外万石以上以下之面々江も不洩様可被相觸候

六月

同式

野劬大平山集合之者共所々横行狼籍および難捨置候間為鎮壓方水戸殿より御人数被差出候筈ニ付近一領諸家江相違候趣も有之候間居城無之面々も在所又ハ陣屋有家来差出候向も人数差出いくさ刀ヲ合討取程遠之分者模様次第援兵差出御府内へ不立入様可取斗者勿論之儀外々江も散乱不致多免弥領分知行取締嚴重相立川々等者別而心得怪敷者者睨与相正し時宜次第擲取討取可申候右之趣関八劬領分知行有之面々江可被相觸候事

六月

以廻状御達申候然者御老中井上河内守様御渡御書付写ヲ以御達し申候間

早々順達留りより御返し可被成候以上

子

六月廿五日

鳴村新右衛門

●周防守殿御渡（水戸新徴組取締につき触書）（岩崎家文書No.2258）

十二月

周防守殿御渡

近頃浪人共水戸殿浪人或者新徴組等与唱所々身元宜者共江攘夷之儀を口実ニ無心申掛其余公事出入等ニ携彼是申滅し金子為差出候類有之候処追々増長をよひ猥ニ勅命等与申觸し直々農民を党類ニ引入候類も有之哉ニ相聞今般御上洛被 仰出候折柄難捨置依之以來御料私領村々申合置帯刀致し置候共浪人躰ニ而怪敷身請候分者無用捨召捕手向致し候ハ、切殺候共打殺候共可致旨被仰出候間悪事ニ不携候もの共者早々旧主江帰参之儀相願神妙ニ奉公致し可申悪事ニ携或者子細有之旧主難立戻分者有躰可訴処御其始末應し罪を免し又者難義不相成様取斗可遣候万石以上以下共用向有之家来旅行為致候ハ、其度々吃度道中奉行江相達先觸可差出領分知行所より罷出候者共茂先觸差出し何連茂此程相觸候通り調印之書付を以関所ニ等可相通萬一先觸不差出旅行致し或者旧主江帰参不致召捕被給候節ニ至り手向致し被切殺候ハ、其身之不念ニ候間其旨可致候事

右之通り万石以上以下不洩様相觸且右之趣板札ニ認メ御料私料宿村高札場或者村役人宅等江当分掛置候様可被相達候

十二月

●覚（松平修理大夫朝廷軽蔑ほか罪状次第）（折原家文書No.1002）

覚

旧獵以來松平修理太夫奸儀窃企陰謀朝廷ヲ軽蔑いたし殊ニ賊徒共ヲ唱導し江戸長崎野州相州所々江乱暴劫賊および

御國ヲ乱し候所業程被御捨置罪状之次第

一大事件尽衆義被仰出候処去月九日突然非常御変革ヲ口実ニいたし奉侮幼主諸搬御所置論ヲ主張事

一主上御幼冲之折柄先帝御依託被為在候撰政殿下ヲ廢止參内候事

一私意ヲ以宮堂上方ヲ恣黙陟さしむる事

一九門其外御警防与唱他藩之もの煽動し兵仗ヲ以宮闕ニ迫り候条不憚朝廷大不敬事

一家来浮浪之徒ヲ語合屋敷江屯集江戸市中押込強盜いたし酒井左衛門尉人数屯所江炮發乱妨其他野州相刃所々江焼討却盜およひ候者證跡分明ニ有之候事

右之通候処摂州伏見辺ニおゐて奸賊共より理不尽ニ御人数江及發炮候ニ付不得已御誅戮相成候間其旨相心得先般申渡置候趣も有之候通此上与も薩賊的党もの潜伏いたし居候ハ速ニ召捕討取可申もの也

辰正月

右之通被仰出候条組合限村々高札場又者村役人宅前江張置小前末々迄も不残様申聞薩賊与見請候哉者勿論怪敷風体之もの村々内江潜伏いたし居候ハ討殺可申候万一心得違隱置もの於有之者嚴重御沙汰可相成候条可得其意候此教書村見下令請印昼夜斉付ヲ以順達留りより吉田隣助方江可被相返候以上

正月十一日 関東御取締出役

望月善一郎

関口斧四郎

●太政官通達(神仏分離令)(折原家文書No.3349)

一禁裏御用或者

禁裏御料又者

禁裏御内料与會符傍示杭標札等書記し候儀者有之間敷事ニ候處往々見受候ニ付以来屹度相改

御用

御料下而已書記いたし候様被仰出候事

但標札者姓名相記し又者官名役名等記し候者不苦候事

一提灯又ハ陶器其外賣物等ニ御紋を画キ候事如何之儀ニ候以来有之類御紋私ニ附ケ候事屹与可禁止旨被仰出候事

但御用ニ付今迄被 免之分も一應調出可申事

右之通被

仰出候条末々迄不洩様可申達事

三月

一中古以来某権現或者牛頭天王之類

其外佛語ヲ以神號ニ相称候神社不少候

何連も其神社之由緒委細ニ書付早々

可申出候事

但勅祭之神社

御宸翰

勅額等之有之候向者尚又可調出其上ニ而

御沙汰可有之候其領之社者裁判鎮臺

領支配頭等江

一佛像ヲ以神躰ニいたし候神社者以来相改

可申事

附

本地等与唱佛像ヲ社前ニ掛或者鰐口梵鐘

佛具等之類差置候分者早々取除可申事

右之通被

仰出候事

三月

今般朝敵ヲ除之外一切大赦与被仰出候者

大綱順ニ而其節目画候而者逆罪且人を

殺し其情罪難差免者別段之事ニ而其
時罪之輕量を不少免科之處置可致候
且又癸丑以來時體ニ係リ皇國之御為与
相考謬而矯激之所行ニ及邦憲ニ觸

狂死等祭り鬼与相成候もの者不少哉ニ相聞

右之内實ニ忠奮ニ出可憐情状旨之者ハ

跡式再興等之儀其程ニ應シ被扱冤魄

ヲ慰候様可致将又当時存在ニ而禁錮

又者落魄致し居候も有之候ハ、可及措置

御沙汰候事

三月

銅錢之儀當時各國相場御斟酌之上自

今一文ヲ以鏹錢六文之通用被 仰出候事

右者是迄其倍ニ当ヲ得サルヲ以動スレハ奸商とも

異邦ニ輸出致し候趣も有之依之速布告被

仰出候事

三月 大政官

右之通鎮撫御総督府より御達有

之候間得其意是迄之高札与引替

張出し置候様可致候廻状村名下入之請印

弁付ヲ以早々順達留り村より可相返もの也

辰四月十七日 大竹左馬太郎

役所

内外新報之内

四月廿五日惣督府より會津江之書付并御請書

松平肥後守事近々暴動に及候趣ニ候へ共既ニ罪魁之儀

一等を被宥候上ハ悔悟状罪御仁意を仰候に於てハ寛
曲ニて候處候間心得違無之様可仕ル間御沙汰候事

惣督府 参謀

御沙汰之趣難有拝承仕候得共徳川家名之

成行不見届内ハ謝罪仕間敷覚悟ニ御座候間

可然御沙汰奉願上候以上

陪臣

松平肥後守

惣督府

参謀衆中

●憲法発布式盛典ノ為養老金下賜(岩崎家文書No.3246)

埼玉縣南埼玉郡百間中島村

岩崎いわ

八十二歳

今般憲法発布式ノ盛典ヲ

表セラル為メ養老ノ 思食ヲ以テ

金五拾錢被下賜候事

明治廿二年二月十一日

埼玉縣知事從五位勲六等吉田清英印